

持続可能な社会を支える人材づくり支援、 三富今昔村(コミュニティ・プラットフォーム)で体験型環境教育

石坂産業株式会社 三富今昔村 くぬぎの森環境塾 (埼玉県)

<https://santome-community.com/>

取組の目的・背景・沿革等

🌿 地域の環境や状況

里山の荒廃化、自然の中の遊び場の減少や公園ルールの厳格化により、親子で身近に遊ぶ場所やアクセスできる自然が減少している。また、地域との関わりや地域特有の歴史・文化への触れ合いも希薄になっている。

🌿 取組の経緯・背景・理念等

江戸時代から続く武蔵野の景観美の保全再生し、自然の中で楽しく遊び学べる里山教室を整備し、「体験の機会のある場」の認定を取得し、地域の多くの人々が集う里山コミュニティの交流広場を創出している。地域固有の自然史や歴史文化を共有し、未来の子供たちにつなげる取組である。

取組の概要

🌿 取組の内容

体験の場となる施設内で、生物多様性の保全エリア、美しい景観美を創るエリア、手を掛けず里山が変遷していくエリアに分けて管理している。各エリアには、散策できる園路を整備し、さらに、自然の恵みや昔の文化・知恵に楽しく接することのできる設備や、里山を活かした環境教育体験プログラムをつくり、様々な世代の方が遊び学べる空間を提供している。自然と生活が分断されている現社会において、気軽に多用途で訪れることのできる身近な自然空間や、大人同士の交流のプラットフォームとしても機能している。

🌿 施設や場の特徴、プログラムの特徴

親子で自然の中で遊び、学び、楽しめる空間を整備している。施設内にはアスレチック、落ち葉プール、子どもの水辺、親水池、ミニSL、ベンチのある憩い広場、デイキャンプ、地域の歴史文化を継承する昔の暮らし体験(紙芝居、水車、触れられる農具、落ち葉堆肥発酵熱の足湯)を設け、遊びの中から自然の恩恵や畏怖を学ぶことができる場を用意。また、一部危険を取り除かないあるがままの自然を残し、経験によって危機回避能力等を身につける意図を持つ場所もある。単に自然観察やスタッフから話を聞くではなく、幼児自らが興味・関心を抱く遊具など遊び場を設けており、自然に親しみや関心を持ち豊かな心を育むことや、同年代・異年齢とのグループ交流を通じて、秩序を守り協調性や社会性を身に付ける学びの場と位置付けている。



自然・文化体験を子どもの成長過程に合わせ興味関心を持たせる体験プログラムとして提供し、未来を担う人材の育成とともに、元々地域の生活の一部だった里山が現代社会にも必要であるとの再認識を図っている。

実施体制について

くぬぎの森環境塾における運営体制は三富今昔村スタッフと地域の人材である環境ナビゲータで構成されている。社内の専門スタッフは園児の自然体験プログラムに参加し、児童への接し方や教え方も学んでいる。森のガイドウォークを行う際は森林インストラクター資格を持つスタッフの下で実施。2014年にISO29990学習サービスを取得し、規格の要求事項（PDCA）に基づきプログラム開発と人材育成を行っている。

安全性への配慮

施設は「体験の機会の場」で求められる安全を確保し、埼玉県による認定更新時の現場確認があるほか、スタッフによる定期的な場内巡視を実施している。児童の親や先生向けに危険生物を教えるハンドブックを制作している。プログラム実施時には冒頭で説明し周知。また、緊急対応として、スタッフが救急救命訓練受講しAEDの使い方などを学び、救急セットを各所に備えている。

地域機関・団体との連携

埼玉県からは、環境学習サポート制度（環境学習応援隊）に基づく学校に対する環境教育の支援・周知の協力や体験の機会の場の認定を受けている。また、当社が所在する三芳町と地域振興の包括協定を締結し、親子体験プログラムや環境イベント等相互協力の関係を築いている。その他、地域のこどもエコクラブ、学童、周辺の保育園や幼稚園などの子ども団体より遠足や野外活動の場としてフィールドが活用されている。

取組による効果

子供・保護者への影響

2016年交流プラザのオープン以降、地域のコミュニティ、家族3世代など、幅広い世代に憩い・集いの場として年間4万人に利用されている。特に、幼稚園や保育園の遠足利用数は昨年度20団体740名の利用と年々増加している。来場者からは子どもを自然の中でのびのびと遊び楽しませることができ良かった、今後も四季を通じて自然を楽しませたい、とのことでリピーターが多く、年間4万人の来場につながっている。

地域社会への影響

子ども達の成長につながる学びの場としての機能だけでなく、ベビーカーを押してママ友が集まり、自然の中で交流する広場、社員も含め地域への貢献意欲を向上させるきっかけとなっている。また、同業者や見学会に参加した関係企業より、体験の機会の場の認定を取得したい、地域の自然保全と体験活動を行いたいとの声を頂いており、企業の在り方、意識の広がりにつながっている。

取組を通じて全体的な所感

これからの未来をつくる子どもたちが、持続可能なマインドや感性を醸成するにはまずきっかけづくりが必要である。そこから得た小さな気付きの積み重ねが子どもの生きる力、考える力、そして持続可能な未来につながっていくと信じている。